

而不言男女之異耳、此以其始名之之意想或異或同故也。

〔古今著聞集魚虫禽獸〕伊勢國別保といふ所へ、前刑部少輔忠盛朝臣くだりたりけるに、浦人日ごとに網を引けるに、ある日大成魚のかしらは人のやうにて有ながら、はこまかにて、うをにたがはず、口さし出て猿ににたりけり、身はよのつねの魚にて有けるを、三喉ひきいだしたりけるを、二人してになひたりけるが、尾なをつちにおほくひかれてけり、人のちかくよりければ、たかくおめくこゑ人のごとし、又なみだをながすも人にかはらず、おどろきあざみて、二喉をば忠盛朝臣のもとへもてゆき、一喉をば浦人にかへしてければ、浦人みな切くらひてけり、され共あへてことなし、そのあちはひことによかりけるとぞ、人魚といふなるは、これていの物なるにや、

〔甲子夜話二十〕人魚ノコト、大槻玄澤ガ六物新志ニ詳ナリ、且附考ノ中、吾國所見ヲ載ス予○松浦清ガ所聞ハ延享ノ始メ、伯父伯母君本覺君、光照夫人、平戸ヨリ江都ニ赴給ヒ、船玄海ヲ渡ルトキ、天氣晴朗ナリケレバ、從行ノ者ドモ船櫓ニ上リテ眺臨セシニ、舳ノ方十餘間ノ海中ニ物出タリ、全ク人體ニテ腹下ハ見ザレドモ、女容ニシテ色青白ク、髪薄赤色ニテ長カリシトゾ、人々怪ミテ、カ、ル洋中ニ蟹ノ出没スルコト有ベカラズ、拵云フ中ニ、船ヲ望ミ微笑シテ、海ニ沒ス、尋デ魚身現レヌ、沒シテ魚尾出タリ、此時人始テ人魚ナラント云ヘリ、今新志ニ載ル形狀ヲ照スニ能合フ、漢蠻共ニ東西二方モ見ル歟、

〔新撰字鏡肉〕肉七角反、魚肉爛也、臭也、豆。 同魚鰯 奴磊反、餒字、魚乃。

〔倭名類聚抄十九〕久佐之、又阿佐禮太利。 鯷曾已禱太々禮。

〔類聚名義抄十〕鰯音乃アザル 鯷奴罪反、敗、星語云奈萬久佐之。 鯷亦腥、ナマクサシ、作腥、和語云留、魚肉爛也。

〔皇都午睡三編上〕上方にて買て來るを江戸にては買て來る○中鮮魚あざらしお魚を無鹽よソル。

〔塙囊抄一〕魚ノ一コント云ハ何ノ字ゾ、一喉ト書也、コウヲコントヨム類ヒ多シ、鎌ヲモ一コン、二